

2026年度 浅野工学専門学校												
建築設計・デザイン科												
構造・数学				系統								
対象	2	年次	開講期	通年	区分	必修	種別	講義	時間数	64	単位	4
科目名	構造力学Ⅱ						担当者	蜂谷 晴信				
授業概要												
前期は部材断面に関わる数量や応力度、座屈について学ぶ。 後期はたわみ・たわみ角、不静定構造の応力を学び、塑性解析の基礎まで発展する。												
到達目標												
講義は、静的構造力学の知識を踏まえさらに展開した材料力学、不静定構造の内容を取り扱う。構造材料の部材断面の性質、発生す												
授業方法												
座学形式の講義を行う。 また、講義内容の理解度を確認するため演習問題なども取り扱う。												
成績評価方法												
確認テスト・期末試験												
履修上の注意												
予習、復習を怠らず、ノートや資料の整理を丁寧に行いましょう。												
教科書教材												
改訂版 図説 やさしい構造力学												
参考書教材												
やさしい 建築構造力学演習問題集												
関連科目												
構造力学Ⅰ												
回数		授業計画										
第1回	内容	反力、応力図の確認										
	細目	・単純梁 ・片持ち梁 ・ラーメン構造										
第2回	内容	確認テスト										
	細目	・単純梁 ・片持ち梁 ・ラーメン構造										
第3回	内容	断面に関する数量										
	細目	・図心 ・断面1次モーメント										

第4回	内容	同上
	細目	・断面2次モーメント ・断面係数
第5回	内容	同上
	細目	・断面に関する数量 演習問題および解説
第6回	内容	応力度
	細目	・軸応力度
第7回	内容	同上
	細目	・曲げ応力度 ・せん断応力度
第8回	内容	同上
	細目	・応力度 演習問題および解説
第9回	内容	確認テスト
	細目	・断面に関する数量 ・応力度
第10回	内容	応力度
	細目	・許容応力度 ・許容曲げモーメント
第11回	内容	学外見学会
	細目	
第12回	内容	応力度
	細目	・曲げ応力度と圧縮応力度の組み合わせ
第13回	内容	座屈
	細目	・座屈とは ・座屈荷重
第14回	内容	同上
	細目	・座屈 演習問題および解説
第15回	内容	確認テスト
	細目	・許容応力度 ・座屈
第16回	内容	期末試験
	細目	・前期範囲

回数	授業計画	
第17回	内容	前期範囲の確認
	細目	・断面に関する数量 ・応力度
第18回	内容	確認テスト
	細目	・断面に関する数量 ・応力度
第19回	内容	たわみ
	細目	・代表的なたわみ
第20回	内容	同上
	細目	・たわみの求め方
第21回	内容	同上
	細目	・たわみ 演習問題および解説
第22回	内容	不静定構造の基礎
	細目	・不静定構造とは ・不静定構造の基礎的解法
第23回	内容	同上
	細目	・不静定構造の基礎的解法
第24回	内容	同上
	細目	・不静定構造 演習問題および解説
第25回	内容	学外見学会
	細目	
第26回	内容	確認テスト
	細目	・たわみ ・不静定構造の基礎
第27回	内容	塑性解析の基礎
	細目	・弾性と塑性 ・静定構造の崩壊と全塑性モーメント
第28回	内容	同上
	細目	・不静定構造の崩壊と崩壊荷重 ・保有水平耐力
第29回	内容	同上
	細目	・不静定構造 演習問題および解説
第30回	内容	確認テスト
	細目	・塑性解析の基礎
第31回	内容	後期範囲の確認
	細目	・たわみ、不静定構造の基礎、塑性解析の基礎 演習問題および解説
第32回	内容	期末試験
	細目	・後期範囲